

おかあさんだいすき

光吉夏弥 訳・編



岩波書店 1980年(1954年初版) 640円

おかあさんのおはなしが2つ入っている絵本です。その中の「おかあさんのたんじょうび」(ふらっく文・絵)は、ダニーがおかあさんの誕生日のプレゼントを探しに行くおはなしです。めんどり、がちょう、やぎ、ひつじ、うし、みんながくれるものは、どれもおかあさんがもっているものばかりです。最後にくまの教えてくれたプレゼントは…。くり返しが楽しく、素朴なあたたかい絵が、お話によくあっています。

おかえし

村山桂子 作

織茂恭子 絵

福音館書店 1989年 800円



あるひ、たぬきの家のとなりにきつねがひっこしてきます。きつねのおくさんは、あいさつにいちごを持って来てくれました。おかえしに、たぬきのおくさんはたけのこを持って行きました。すると、おかえしのおかえしに、花とかびんを持って来てくれて…。際限なくおかえしをしあうおくさんたちの様子が笑いを誘います。見開きの右と左に2匹の家があり、行き来するたびにかわる、家の中が楽しく描かれています。

おだんごパンーロシア民話ー

わきたかず 絵

せたていじ 訳

福音館書店 1966年 1100円



おばあさんのやいたおだんごぱんは、食べられたくない、ころころころがって逃げだしました。おじいさん、おばあさんから逃げだしたおだんごぱんは、うさぎ、おおかみ、くまからも逃げだします。しかし、きつねにおだてられ舌の上ののったとたん、食べられてしまいます。「ぼくは、てんかのおだんごぱん。…」という歌のくり返しが楽しいロシアの昔話です。淡い色彩の絵と軽快な語り口がぴったりあっています。